

International GAP（国際的適正農業規範）対応の食料管理専門技術者養成プログラム

GAP教育カリキュラムイメージ



1) 本教育プログラムは、国際標準の適正農業規範（GAP）にもとづいて、農業生産現場から農産物の流通・加工・小売までの工程における農場管理と販売管理、食の安全、環境保全型農業、労働安全について理解することにより、専門性の高い食料管理専門技術者の養成を目的としています。

本教育プログラムに関する科目の単位を修得することで、本教育プログラムの修了証明書を受けることができます。農業および食品関連企業等に就職する者にとっては、本教育プログラムを修了することが有益です。

2) 食料管理専門技術者養成教育の受講および修了基準について

(1) GAP コア科目については、各科目区分の最低修得単位数以上を取得すること。

(2) GAP 関連科目は、各科目区分にわたって幅広く履修することが望ましい。

* 本教育プログラムは文部科学省特別経費プロジェクト『International GAP（国際的適正農業規範）対応の食料管理専門職業人の養成』事業で開発したものです。

カリキュラムマップ

	1 年生		2 年生		3 年生		4 年生	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
GAP コア科目	GAP概論 [2]	植物生産環境科学概論(2)						
	GAP模擬実習 [2]	植物生産環境科学基礎実験・実習Ⅰ(1)	植物生産環境科学基礎実験・実習Ⅱ(1)					
	インターンシップおよびGAP認証農場等での実習 [2]	 植物生産環境科学基礎実験・実習Ⅱ		農場実習Ⅰ(1) 学外体験実習(2)※ 短期学外体験実習(1)	農場実習Ⅱ(1) 3年後期まで	グローバルアグリ体験講座(2)		
	GAP指導員講座 [1]			企画実習(通年)(1)		フィールド実践実習(通年)(2)		
	農業技術者倫理 [1]					GAP指導員講座(1)		
	専門英語 [4]						農業技術者倫理(1)	
GAP 関連科目	卒業論文 [6]					専門英語Ⅰ(2)※	専門英語Ⅱ(2)※	
	食の安全と品質向上に関する科目	栽培学(2)		植物生理学(2) 作物学総論(2) 植物病理学総論(2)	野菜園芸学(2) 園芸利用学(2) 果樹園芸生理学(2) 作物学各論(2) 農業システム学(2) 観賞園芸学(2)	施設園芸学(2) 果樹園芸学各論(2) 生物生産システム工学(2)(隔年)	青果代謝生理学(2) 生産流通施設学(2) 作物生産技術学(2)	
	生産環境保全に関する科目			農地環境工学(2) 果樹園芸学総論(2) 昆虫生態学(2) 栽培植物起源論(2) 植物生産科学実験Ⅰ(1)	総合的害虫管理学(2) 植物生産科学実験Ⅱ(1) 植物病理学各論(2)	バイオロジカル・コントロール(2) 土の物理学(2)	土壌肥科学(2) 農地環境保全学(2)	
	労働安全に関する科目		農業機械化論(2)	人間工学(2) 農業動力機械学(2)	農業環境工学実験Ⅰ(1) 雑草防除学(2) 農業水力機械学(2) 生物応用力学Ⅰ(2)	生物生産機械学(2) 農業環境工学実験Ⅱ(1) 生物応用力学Ⅱ(2) コンピュータ図学及び製図(2)	生物計測工学(2)	
	農場運営と販売管理に関する科目		生物情報処理学(2)	農業経済学(2) 応用数学Ⅰ(2)	社会統計学(2) 応用数学Ⅱ(2)(隔年)	農業経営学(2) 農業・社会調査実習(1)	農業政策論(2) 農産物流通論(2)(隔年) 国際農業論(2)(隔年)	

* 【】内の数字は、最低修得単位数を、()内の数字は単位数を示します。

* ※印の科目については植物生産環境科学科のものを取得します。

* GAP指導員講座…NPO法人日本GAP協会の協力の下、開講しています。試験で所定の成績をおさめ、資格取得を希望した学生は、「JGAP指導員」資格を取得できます。これまでに、平成24年度37名、平成25年度44名、合計81名のJGAP指導員が誕生しています。

(2014.4)